

千葉市災害対策本部 本部員会議 16回目

1 日時

令和元年9月27日（金）9時00分～

2 議事内容

（1）本部長指示事項

引き続き災害対応、復旧、被災者への支援について、皆さんに感謝申し上げます。

現時点では、局所停電がまだ残っている。それぞれの箇所が実際にはどういう状態になっているかはまだ見極めができていないと思われるので、引き続き目を配りながら各部において、必要に応じて支援を届けていってほしい。

いよいよ復旧復興モードに入っていく。特に災証明の発行について、速やかに行っていくように、生活再建についても様々な制度が国や県からも示されてくると思うので、丁寧に進めていってほしい。

（2）各部からの報告

○都市部

- ・ブルーシート養生作業の対応件数等について資料で説明。
これまで要配慮者や弱者優先でブルーシート張りを行ってきたが、日曜日をもってブルーシート張りのボランティアがいなくなるので、月曜日からは実施できない。ブルーシート張りについては、終了する旨を今日の夕方に市政記者に情報提供する予定。
- ・住宅に関する問い合わせ件数について資料で説明。
- ・り災者用住宅については、市営住宅に現在20戸入居中となっている。
- ・再建支援の制度、補修の制度については、国、県と引き続き調整していく。
- ・公園の被害について、現在閉鎖をしているのが泉自然公園であるが、今月中になんとか再開したいと考えている。

○教育部

- ・学校施設、文化財に被害について写真で説明。
- ・給食の牛乳の提供は来週にずれ込むことになった。

○建設部

- ・倒木の処理について報告。
東電に関係しない倒木処理は、残り50箇所ある。
来週から千葉市建設業協会を動員して、倒木となっていないが傾いている約200箇所の街路樹について処理を実施予定。
東電とは電線、電柱に枝がかぶっているものなど含めると、残り115件ほどあるため打合せを行った。

市と連携して処理する箇所の選定及び体制の確保について、東電から連絡をもらうこととした。可能であれば来週半ばに着手予定。

○消防部

都市部からも話があったが、ブルーシート張りについては市内向け支援を終息するので、支援を市外にむけていく。

本市以外の県内消防本部が南房総、館山に既に援助しているが、県からブルーシートの県内支援の話がある場合は他市への支援を進めていく。

○水道部

前回本部員会議以降、給水の要望は追加で出ていない。

○経済農政部

前回本部員会議以降の、東電職員によるサイクル会館宿泊利用数について報告する。

24日は19名、25日は16名、26日は15名であった。

○環境部

災害ごみの処理について、昨日は786件あった。

増える傾向にある。

市民向けに災害ごみの受入期限を周知したので、週末には件数の増加が見込まれる。

○財政部

補正予算の追加議案について案が固まった。

今後外部にも公開していくので、関連各部において取材等の対応をお願いしたい。

○総務部

- ・ 災証明の発行を早急に進めていきたいという話について、他市からの応援についてお願いする準備をしている。

これに関連して、応援を頼んだ場合の対応として、市民向けの宿泊施設として提供をいただいていた民間企業の建物を借りたい。経済農政部で話はできないか。

→民間企業に対しては、一度鈴木副市長から連絡を入れていただくと話が進むと思う。

(経済農政部)

- ・ 報道関係について、各部の対応内容や数値の公表に当たって、誤解を招かないように慎重に進めていただきたい。

→報道機関がそろそろ行政批判をし始める可能性がある時期なので、各部において慎重に対応いただきたい。(市長)

○事務局からの報告

- ・局地停電件数について報告
- ・来週、台風がこちらに来る可能性もあるので、注意していただきたい

○緑区

- ・り災証明の前段となる被害認定調査の基準について確認

→弾力的に運用を行っていくという点において、間違いなく基準は変わる

それは内閣府も意識していることではあるが、聞かれれば対外的には言わないだろうし、市側で空気を読んで対応していくことだ。基準については弾力的なもので決め、動いていってよい。

税務部門と一緒に加点の考え方を整理して、このようにやるということで確認を取りながらやっていくように。このあと財政部と調整するので、その調整結果をもって進めていくこと。(市長)

○中央区

- ・市民向けにビデオ会議を使って相談を受ける件、仕組みの準備が整った

これまでは、はじめに窓口で対応が難しいものをくらし安心室で受けて、それでも対応が難しいものを本庁の関係部署に電話して確認し、対応してきた。本庁側をお願いしたい案件として、くらし安心室が受けて対応しきれない困難事案をビデオ会議で対応いただきたい。

電話で本庁に連絡した際に、担当者をすぐに割り当ててほしいので、窓口となる職員を決めて進めてほしい。

→本庁に回したい相談で一番多い案件は何か。全てはビデオ会議で対応できないので、区の窓口で多い項目を整理して進めてほしい(市長)

→多いものとしては、やはり、り災証明関係で複雑なものがあげられる。項目は整理して、関係課に依頼する。(中央区)

- ・ブルーシート張りは都市部で終了するとのことであったが、まだ窓口にはブルーシート配付を求めて市民が来ている。ただし、今回被害を受けた方以外でブルーシートをもらいに来る方もいて、対応に苦慮している

→ブルーシートはそろそろ配付を見合わせてもよいのではないか。被害を受けた方が応急用に使うために配付するものなので、ここからはり災証明の申請とセットにしてはどうだろう。り災証明とセットでブルーシートを配付することとし、広報についてもそのように出していこう。(市長)

→そのようにしていく(中央区)

(3) 今後の予定

- ・資料で体制の変更について説明

災害対策本部の設置については維持した上で、復旧復興を見越した体制としていく

- ・ 次回本部員会議は9月30日（月）9時～